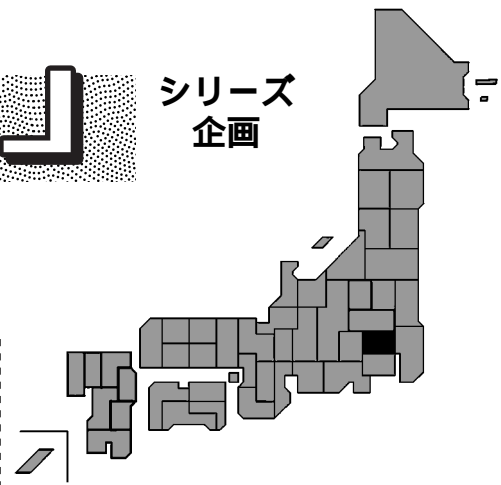


地域活性化を担う「産業観光」

シリーズ 企画



豊富な資源 課題は客集め

神奈川県

最先端技術を駆使した京浜工業地帯の工場群がある一方、のどかな田園風景や威勢のいい掛け声が飛びかう三崎漁港など、第1次産業から第3次産業まで幅広い産業観光資源を内包する神奈川県。県の取り組みやMM21地区を中心に取材した。

産業観光で最初にイメ
ーシされるのは、産業施
業 県央部の農業や酪農
など、現下の産業観光に
学だろ。そうしたイメ
ーシの背景には、かつて
テクニカル・ツーリズム
として高い科学技術を示
す施設、近代的設備や技
術にもとづく生産工場な
どが対象にされてきたこ
とも起因するようだ。も
ちろん現在では、そうし
た施設のほか農林水産業
などの第1次産業、ある
いは地域の伝統工芸など
も加えた幅広い理解がな
されている。

県内105の スポット紹介

同県の商工労働部では
「ものづくりを中心に地
域や産業との触れあいを
図る」(観光振興担当課
長・古谷幸夫氏)との基
本姿勢から各種の施策を
展開している。

「三浦半島から湘南海
岸にかけての歴史と海の
自然体験、県央部の棚田
や農林業、酪農などの郊
外型体験、小田原・箱根
方面の文化と山の自然体
験など、エリアとテーマ
をリンクさせた形で受け
入れを行っている。

旅行者向け 訴求で商品化

神奈川県観光振興対策協
議会では、県内の観光資
源の開発や紹介、旅行商
品化による観光客誘致な
どを目的に、05年度から
「観光セリ市場」の取り
組みを行っている。

先端技術から 伝統工芸まで

京浜工業地帯の企業や
工場では、以前から工場
を開放して見学会などを
受け入れていた。「小学
校のPTA行事として、江
戸時代には「一夜湯治」
と称した温泉旅行も盛ん
だったようで、その土産
品として、城下町の匠た
くみ)による工芸品づく
りの伝統も今日に至って
いる。

基本はものづくり 個々の施設が個性を自己主張

そうした中であって神
奈川は、日本を代表す
る京浜工業地帯があり、
東海道の宿場町として知
られる小田原や温泉地・
箱根、そしてマグロの水



港や横浜のシンボル「ランドマークタワー」(中央)の周辺には、工場見学とは違つ展示館や資料館などの産業観光スポットが点在し、それらの多くは見るだけでなく体験もできる

神奈川の産業観光施設

横浜市 = 横浜開港資料館 / 横浜赤レンガ倉庫 / シルク博物館 / 神奈川県立歴史博物館(旧横浜正金銀行本店) / ドックヤードガーデン / 横浜税関資料展示室「クイーンズのひろば」 / 日本郵船歴史博物館 / 横浜マリタイムミュージアム・帆船日本丸 / 三菱みなとみらい技術館 / 横浜埠頭公社大黒ふ頭C-4号コンテナターミナル / 日産自動車横浜工場「日産自動車横浜工場ゲートホール」 / JHFCパーク / キリン横浜ビアビレッジ / 東京ガス環境エネルギー館 / 東京ガス根岸工場CRセンター / 東京電力横浜火力発電所「トウニニ・ヨコハマ」 / 東京電力電気史の史料館 / 新日本石油精製根岸製油所 / 横浜市電保存館 / 横浜水道記念館 / ニュースパーク(日本新聞博物館) / 放送ライブラリー / 横浜市民防災センター / 横浜市歴史博物館 / 崎陽軒横浜工場 / 雪印乳業横浜チーズ工場 / 日清オイリオグループ横浜磯子事業場 / 横浜市技能文化会館「匠プラザ」 / クツのオーツカ資料館 / 「九つ井」自家製陶器工芸工房 / 横浜硝子赤レンガ倉庫店 / 川崎市 = トーマス転炉 / 細山郷土資料館 / 川崎マリエン / 東芝科学館 / ブラネタリー熱間圧延機フィードロール減速機用歯車(富士見公園) / かながわクリーンセンター / 川崎市リサイクル環境公社浮島生活環境学習室 / 電車とバスの博物館 / 京浜急行発祥の地記念碑 / ニヶ領用水久地円筒分水 / かながわサイエンスパーク / 味の素川崎工場 / 若宮八幡宮郷土資料室 / 東京ガラス工芸研究所 横須賀市 = ヴェルニエ記念館 / 独立行政法人海洋研究開発機構 / 日産自動車追浜工場 / 東京電力横須賀火力発電所 / 電力中央研究所横須賀地区 / 観音崎灯台・灯台資料展示室 鎌倉市 = 資生堂鎌倉工場 / 鎌倉彫資料館 藤沢市 = 相模八木本社工場 小田原市 = 富士フィルム神奈川工場 / 街かど博物館・とうぶ工房(下田豆腐店) / 街かど博物館・かまぼこ博物館(鈴廣) / 街かど博物館・寄木ギャラリー(露木木工所) / 街かど博物館・ひもの体験館(カネタ前田商店) / 街かど博物館・木象嵌ギャラリー(内田木象嵌製作所) / 街かど博物館・梅万資料館(欄干橋ちんりう) / 街かど博物館・和菓子伝統館(正栄堂本店) / 街かど博物館・薬博物館(済生堂薬局小西本店) / 街かど博物館・倭紙茶舗(江島) / 街かど博物館・工芸菓子展示館(栄町松坂屋) / 街かど博物館・漆・器ギャラリー(石川漆器) / 街かど博物館・陶彩ざらりい(松坂屋漆器店) / 街かど博物館・かまぼこ伝統館(丸う田代) / 街かど博物館・ひもの工房(早瀬幸八商店) / 街かど博物館・かつおぶし博物館(龍常) / 小田原市 = プライムバック / アマノ津久井事業所 / 久保田酒造 / 和幸美術館 三浦市 = 風力発電機・宮川公園 / 三浦市三崎水産物地方卸売市場 秦野市 = そば処東雲源実朝公御首塚 田原市 = さと公園 / 金井酒造店 厚木市 = 神奈川県総合防災センター / 黄金井酒造 / 前場資料館(前場工務店) / 厚木ガラススタジオ 伊勢原市 = 糸ひすや土産店 / はりまや 海老名市 = 日本ミルクコミュニティ海老名工場 座間市 = 朝日東京プリンテック座間ステーション セツト 座間市 = アサヒビール神奈川工場 綾瀬市 = かなしんオプセツト 寒川町 = キリンビール川崎工場 湘南工場 / 神奈川県水道記念館 二宮町 = ヤマニ醤油 / 渡邊商店 中井町 = あしがら乳業協栄センター 井上町 = 松田町 = 中沢酒造 山北町 = 神奈川農協茶業センター 箱根町 = 間寄木美術館 / 畑宿寄木会館 真鶴町 = 真鶴魚座 湯河原町 = 和菓子処味楽庵 愛川町 = レインボーラザ(愛川織維会館) / 宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館



ニュースパークでは巨大な新聞の印刷機(右)をはじめ歴史的な資料を展示するだけでなく、新聞づくり体験なども実施している(下)

二宮町 = ヤマニ醤油 / 渡邊商店 中井町 = あしがら乳業協栄センター 井上町 = 松田町 = 中沢酒造 山北町 = 神奈川農協茶業センター 箱根町 = 間寄木美術館 / 畑宿寄木会館 真鶴町 = 真鶴魚座 湯河原町 = 和菓子処味楽庵 愛川町 = レインボーラザ(愛川織維会館) / 宮ヶ瀬ダム水とエネルギー館



かつて輸出の花形だった横浜スカーフをはじめ絹織物や養蚕など蚕糸産業の歴史を幅広く展示するシルク博物館



先端的な宇宙開発や深海探査、エネルギーや身近な自然科学など多彩な三菱みなとみらい技術館

これは、旅行者向けに、観光資源の紹介や、観光誘致の場として、以前から工場を開放して見学会などを受け入れていた。「小学校のPTA行事として、江戸時代には「一夜湯治」と称した温泉旅行も盛んだったようで、その土産品として、城下町の匠たくみ)による工芸品づくりの伝統も今日に至っている。

これら施設は、教育旅行(体験学習)やSIT(知的好奇心を満たす旅行)などの旅行目的に確実にマッチしている。

また、県西部の小田原は、東海道五十三次の宿場町であるとともに、箱根への湯治客などの往来で古くから栄えてきた。江戸時代には「一夜湯治」と称した温泉旅行も盛んだったようで、その土産品として、城下町の匠たくみ)による工芸品づくりの伝統も今日に至っている。

それらを生かした取り組みとして、伝統工芸品などを製造する工場や扱う商店が、その一画を改装して博物館にしたのが「小田原街かど博物館」だ。見学だけでなく体験のできる施設も少なくない。現在、そうした博物館は16を数える。

県全体の産業観光施設を俯瞰すると、小田原市の場合に単体としての感が否めない。エリアとしての連携に乏しい。そこには、「現業の現場に第三者を迎える難しさ」(古谷氏)もあるようだ。